

1月になりました。

あけましておめでとうございます

平成最後の1月です。年初めなのに終わりを感じています。

重そうなコートを着て首をすくめ、猫背に足元を見つめ憂鬱な表情を浮かべながら、忙しげに歩いている。

その背中はとっっても寒々しいというのが昭和の初期の冬の大人達だったのですが・・・

平成になると冬も様変わり

衣料業界発展のおかげで冬の衣料改革がおこなわれ、路上で踊れるくらいになりました。

人々が真摯に物事に取り組んだ結果多くの発見や発明が成され、「文化的な生活」

が「便利な生活」になり、今や「普通の生活」になることができた 21 世紀に暮らしています。

私は昭和の中盤生まれの女性ですが、最高学府まで進学し、家に縛られない結婚をし

子育てをしながらも自分の望む仕事を続けてこられたのは

この 60 年日本という国が平和で、資本主義の中、豊かな経済社会を育て

様々な分野での生活改善が浸透してきたというバックボーンがあった為だと思っています。

またここに至るまでに時代の犠牲者が多くあった事。それらも含めて感謝しています。

20 世紀から 21 世紀の変わり目は 日本が大きく変わった時でした。

「スピード」「効率」「利益」を尊び、みんな同じ方向を向き

「いけいけ！ドンドン」という時代で私達は、自信に満ち、真冬も

猫背にはならず、アルコールで暖めた身体に高級カシミアコートで

アフターファイブを謳歌し、分厚いお財布を保ったまま

冬の雑踏を歩く事なく、暖房のきいたタクシーで都内を往来していました。

その時代、後ろ向きの発言者、心配症、熟考者は「決断力が無い」「行動力が無い」と揶揄されかねず

浮かれていない者は「変わり者 お可笑しな人」と見なされる。そんな状況まで生まれていました。

その後・・・そう・・・「これまで経験したことないほど一番寒い季節を迎える」ことになろうとは

思いもしませんでした。やがて迎えた 21 世紀。一時、世界が明るくなったかと思ったのですが

それも「夢見たそれ」とは少し違っていました。それどころか次の子どもたちにも

大きな傷を抱えたさせたままに、21 世紀を迎えさせる事になってしまったのです

そんな 21 世紀もすでに 20 年経とうとしています。平成の世は今年限りです。

西暦では、世紀の節目でもなく、あまり変わりがないはずなのですが

60 年も日本人として生きてきていると元号の呼び方が変わるだけで

「新たな時代」が来る様な気がしてしまいます。

この次はどんな時代になるのでしょうか？できれば、いえ少なくとも、

私自身は次の時代に「求めるもの、目指す物」を変えていきます

「効率」や「利益率」だけでなく、しっかりとしたバランス感覚を保ち

本当に大切なものを知り、守り、自分の価値観の中で「豊かな生活」ができるよう

「豊率」(ユタカリツ)の向上を目指したいと思っています。

皆様には2019年・新元号初年度が素晴らしいものになりますよう

お祈り申し上げます。引き続きお引き立てのほどお願いいたします。

プロップ K スタッフ一同

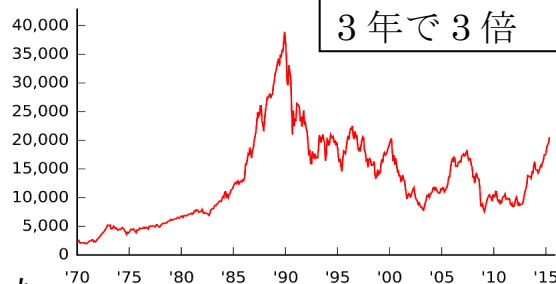
追伸 ここまで読んでくださった方 御礼もうしあげます。

12月も読んでくださっていた方・・・ごめんなさい！ うふふ！



株価変動

3年で3倍



豊率の向上